

無限恒久永遠推し!!



完璧で究極のアイドル激似の女の子とエッチな擬似体験!



スクープ!? あの有名アイドル 超激似の美少女がAVデビュー!!

105 minutes  
税込価格 ¥800  
OSH-04

スクープ!?  
あの有名アイドル  
超激似の美少女がAVデビュー!!

偽物?  
それとも本物?  
嘘はとびきりの  
愛(エロス)  
なんだよ



星<sup>00</sup>ルビー  
チョウゲキニ

あの有名アイドルグループ〇小町で一番人気の星〇ルビーがまさかのAVデビュー!  
あまりにもそっくりすぎて、街中を歩けば誰もが振り返るほど。そんなアイドル激似の今ドキ少女は、エッチなことが大好き。本物では見ることのできないあんなところやこんなところを見せちゃいます。  
そしてさらに、ウィッグを被れば〇小町伝説のあのアイドルにもそっくり! 一粒で二度と美味しい。そんな完璧で究極のAVをぜひともご覧あれ☆

CONTENTS

- ①マイクロピキニでインタビュー
- ②マイクロピキニで手コキ
- ③マイクロピキニでシックスナイン
- ④マイクロピキニで後背位中だし
- ⑤裸で騎乗位中だし&くぱぁ
- ⑥ウィッグ+ハイグレオタード+ニーハイ
- ⑦電マ責め
- ⑧4P中出し孕ませSEX

「んっ、はあ……気持ち、いいかも☆」

GS 企画 グラムサイト  
制作 <https://www.glam sight.jp/>  
JPG/PDF COLOR 2400x1800px  
OS-004 105min 800YEN



●このCG集は18歳未満への販売・貸し出しを禁じます。  
●このCG集の無断複製、及びネット上へのUPは禁止します。  
●この作品には18歳未満の人物は出演していません。





スクープ!!あの有名アイドル  
超激似の美少女がAVデビュー!!

えー、今回はあの有名アイドル  
星野ルビーのそっくりさんに  
来てもらったんですが……。

「そんなに似てますかね？」

リン



あはっ

いやいや、似てるどころか激似ですよ。  
めっっちゃ可愛いんですけど。

「年齢はルビィちゃんより歳上ですけどね」



まあ、おかげでAVにも出てもらっ  
ことができたわけですが(笑)

「そうですね。エッチ大好きです♡」

A blonde anime girl with long hair and red eyes is shown from the waist up, wearing a pink bikini. She has a slight smile and is looking towards the viewer. A hand is placed on her right hip. The background is a plain light gray.

ちなみだ、演技は得意な方？

「そうですね。昔某劇団に所属してた  
ことがあるんで割と。  
同世代に本物がいたんで挫折しましたけど」

なるほど。どらういじで、今回は  
星野ルビーをなりきってもらって  
撮影したいと思ってます。

「はい、頑張ります☆」



「あは、すごい。  
まだ何もしてないのに、  
おちんちんおっきくなってる」

「そりゃあ、ルビーちゃんのそんなエッチな  
格好みたら大きくしちゃうよ」

あはっ

んっ



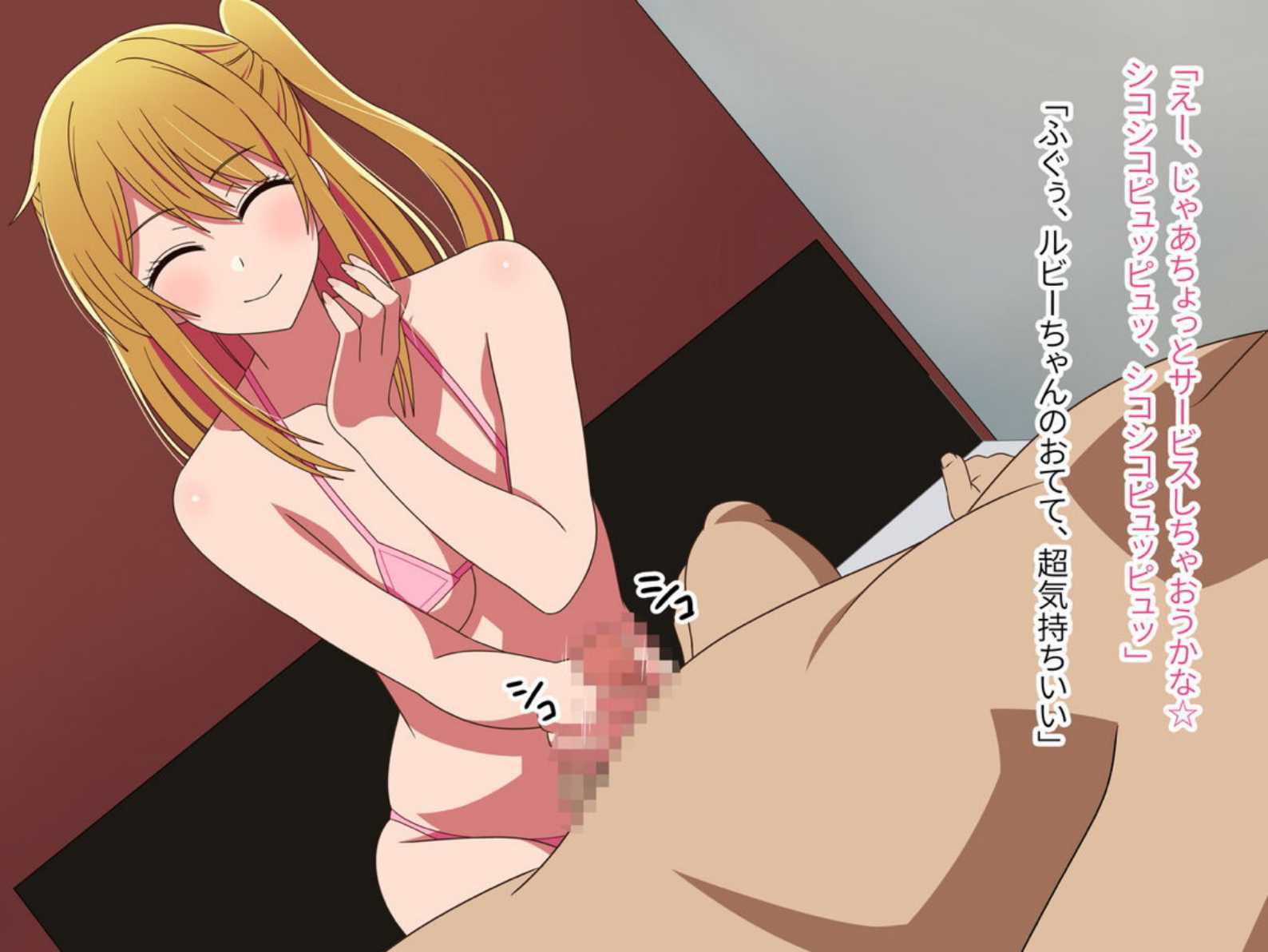


「えー、じゃあちよつとサービスしちゃおうかな☆  
ピュンピュンピュン、ピュンピュンピュン」

「ぶぐう、ルビーちゃんのおてて、超気持ちいい」

ふん

ふん



「あは、おちんちんピクピクしてる。  
イツチャウのっ。」

「あー、イツチャウ。イツチャウのお

「いよいよ。アピュンと出しちゃえ☆」

ぷん

ぷん





「うっ、うっ………あぁー！」

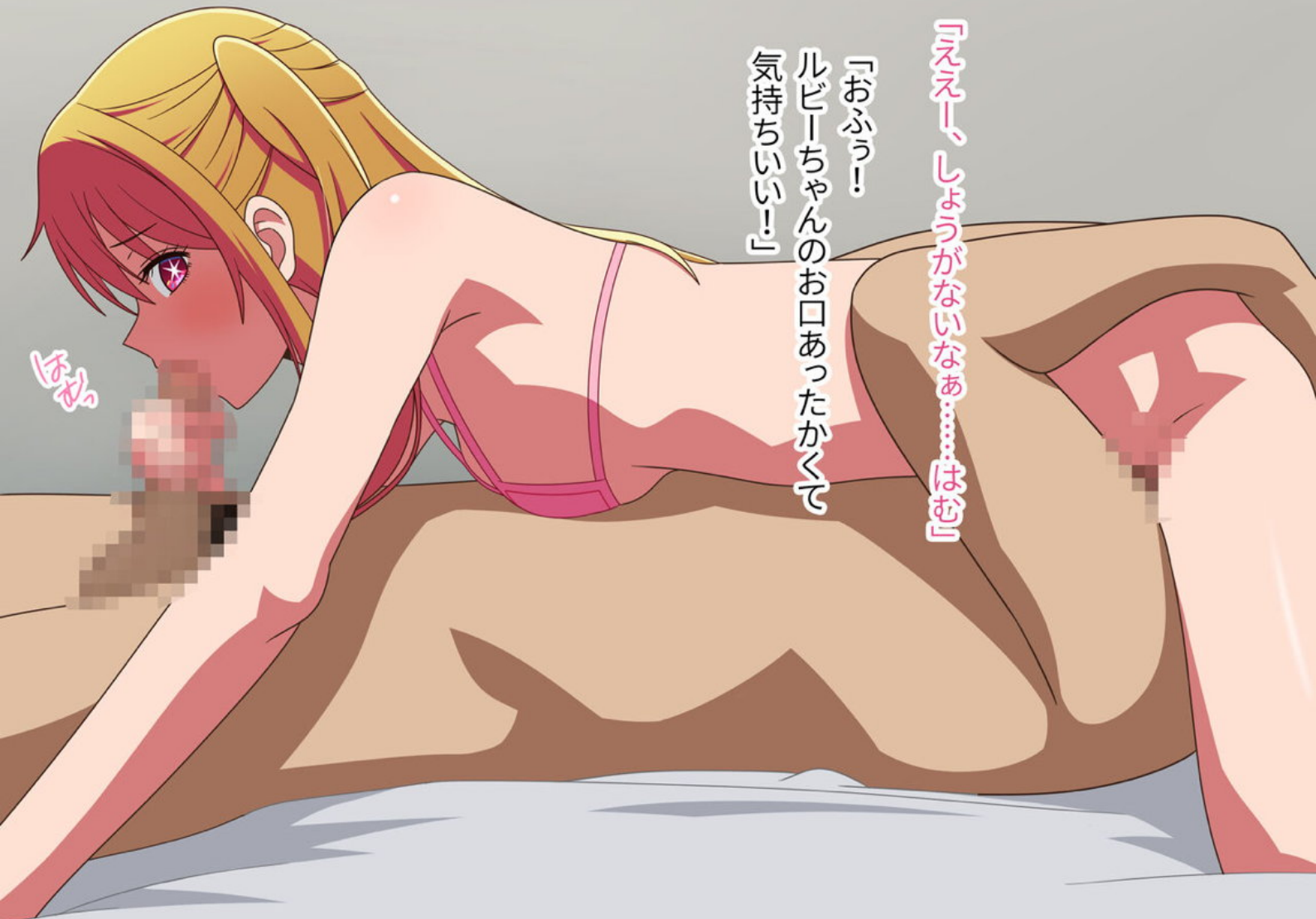
「おおー！」

「うっ、うっ………あぁー！」

「あはは、すごい。  
めっちゃ飛んでるんだけど！」

「はあ、はあ……ルビーちゃん、  
上、上に乗って舐めて」



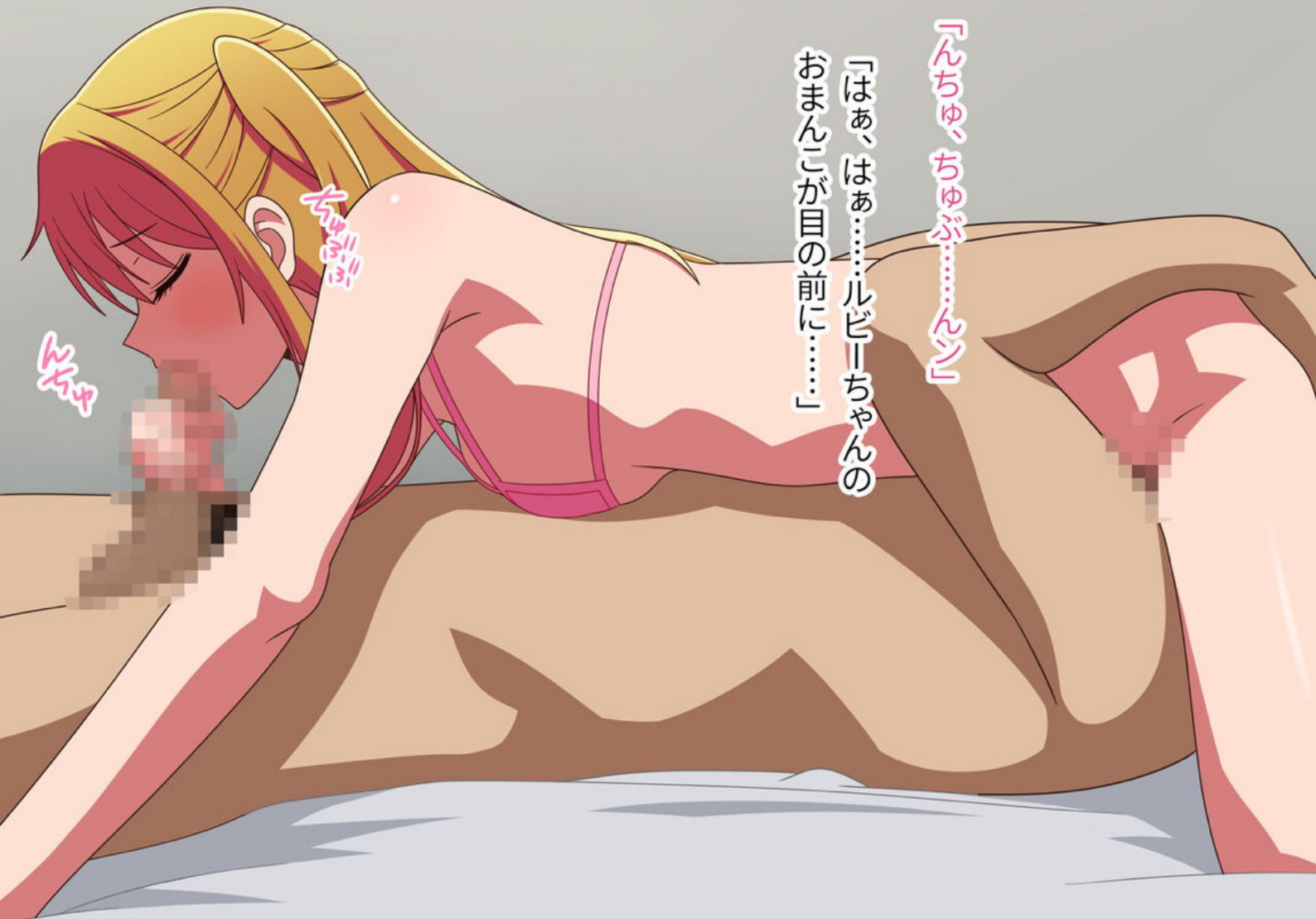


「ええー、しょうがないなあ……はむ」

「おふう！」

ルビーちゃんのお口あったかくて  
気持ちいい！」

ほむ

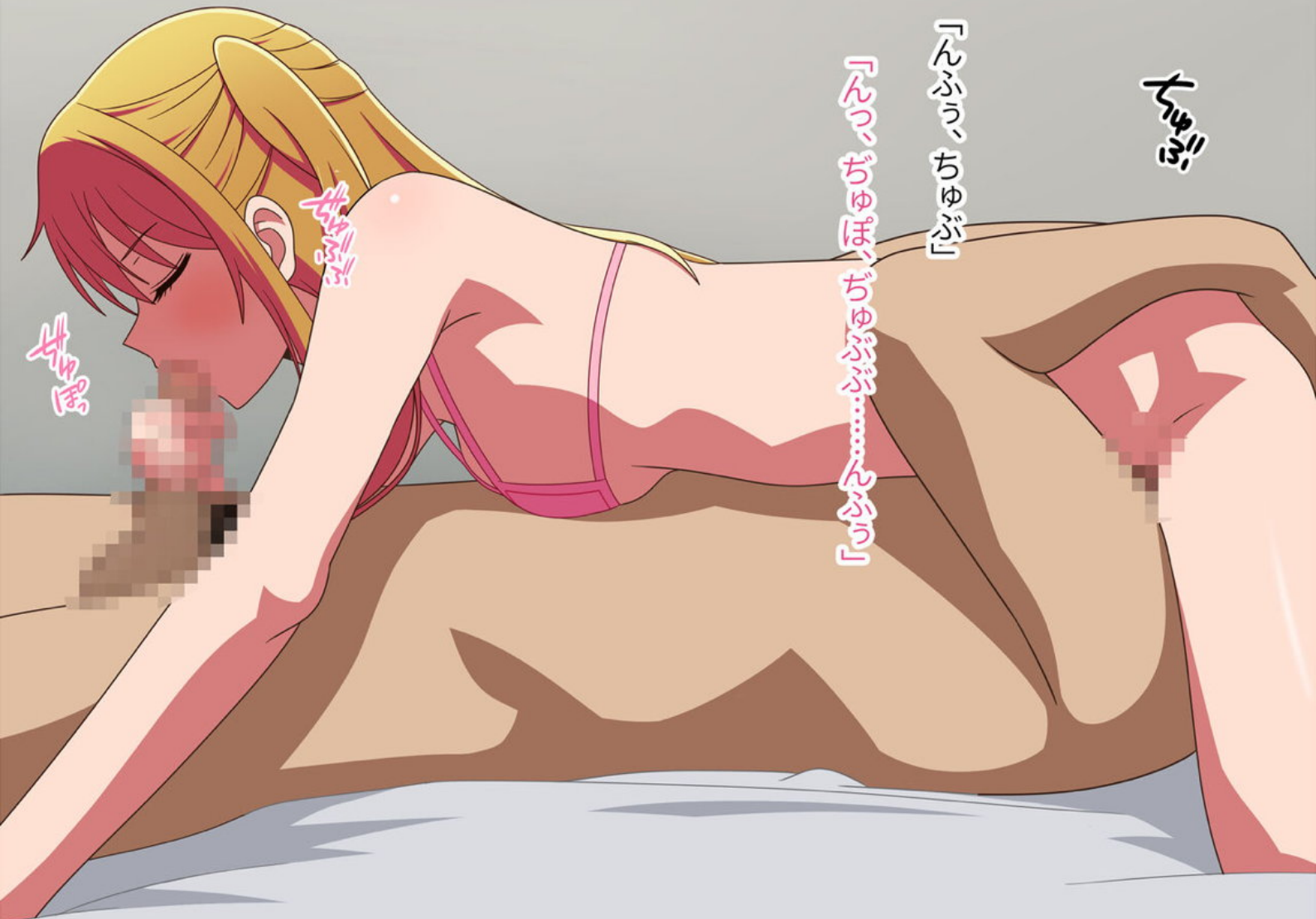


「んちゅ、ちゅぶ……んん」

「はあ、はあ……ルビィちゃんの  
おまんこが目の前に……」

んちゅんちゅん

んちゅ



んっ

「んっ、ちゅぽ、ちゅぶぶ」

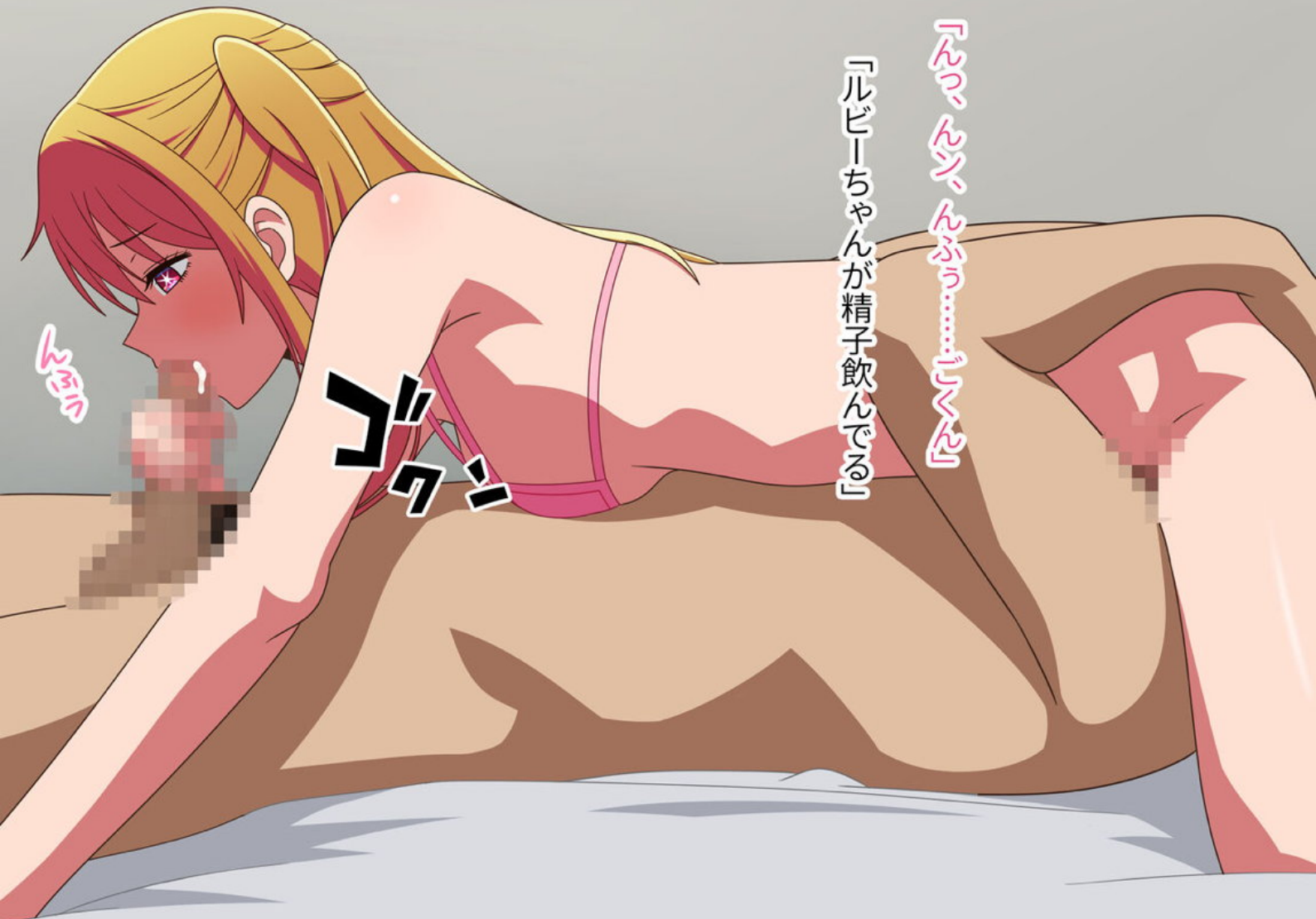
「んっ、ちゅぽ、ちゅぶぶ.....んっ、ちゅぶぶ」

んっ

んっ







んんん

ゴクッ

「ルビーちゃんが精子飲んでる」

「んっ、んん、んふう……ごくん」



「ひゃん！」

「やべー、もう堪んねー！」

ぐ  
っ



「ルビィちゃん、ルビィちゃん！」

「んっ、あはあ、おちんちんすけ……っー。」

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

「あつ、あつ、おまんこの奥、  
子宮口におちんちん当たって……  
気持ちいい♡」

「ああ、ダメだ。もうイク！  
ルビィ、中に出すぞ！」

「きてえ、おまんこの奥に  
赤ちゃん汁いっぱい出してえ！」

パン

パン

パン



イク!

「あはあああ.....んん〜」

ビュッ  
ブルッ

「うっ、ふう………」

「いっぱいビュルビュルッて出てる。  
あはは、気持ちよかった?」

「最高だったよ、ルビーちゃん」

「そっか。それじゃあ………」

んん



「はい、お、お」

「まだまだできるよねっ」

「んっ、んっ、んっ」



「あひゃあひゃ♡」

「ルビーちゃん、激し……ああっ」

あ





「あっ、ちよっ、ルビーちゃん  
やば、もっ」

「んふう、おちんちん気持ちいい♡  
おちんちん好き♡」



あら

「うーうー」

「はあん♡」

「おまんこの奥にビューツで出てくるっ」

「くはあ、搾り取られる……」



「えへへ、気持ちよかった、かな？」  
「さ、最高でした……」



「……………」  
それじゃあ改めて。  
ルビィちゃん、イキんでみようか」

「あーん」

「あ  
ん  
ん」



ムッ

「ムッ」

「おま、その調子。その調子。  
田んぼだわあ」

ムッ

「えへへ、こんな奥に出されたり、  
本気で妊娠しちゃってるかも」

「そうだね。そうなら、  
腹ボテ撮影しちゃおうね」

フ  
フ

フ  
フ  
フ



「えー、いいけどお(笑)」

「それじゃあちよつと休憩挟んだら、  
次の衣装に着替えてもらおうか」

「ドッ」





「えー、ちょっと高めウィッグをつけてもらったわけですが。これは……すごい」

「じゃじゃーん、B小町のアイです☆」





あはっ

「そうかな？」

「いやあ、似てるかもとは思ってたけど、  
これはマジですじい。生き写しじゃん」



ん  
ん

「あはは☆」

「だからちよっと感動」

「そうなの？」

「いやあ、俺現役ではルビーちゃん推し  
だけど、元々アイのファンだったんだよね」



「堪らない!」

「堪らない?」

「しかもこんな際どいハイレグ姿とか」

「うわー」

「どういって、ちょっとイメージビデオっぽく。  
電マで責めちゃいましょうー!」

ニヤニヤ

ア

んん





「おはようございます」

「んっ.....♡」

アッ

ズズズ

ズズズ

ズズズ



「気持ちいいっ..」

「んっ、はあ.....気持ち、いい、かも☆」

「ちょっと濡れてきたところで.....」



「強モード」

「あつ、あつ.....ダメ、イクら.....んん！」

あはは

ダダダ

ゴクゴク

ダ

ダダ

あはは



「おまんこ、濡れちゃったね」

「はあ、はあ……んんん♡」

「ううよ………おまんこ」



「うっ、アイちゃん！」

「あは、これすごーい」

アハ♡

ズニャ



「おちんちんに下から突かれてるのに、左右にもおちんちんがあるし☆」

「憧れのあのアイとセックスできるなんて」

「羨ましい。早く次変わってくださいよ」

「そうですよ、ルビーちゃんとも散々したのに」

いぢゅー

いぢゅー

いぢゅー



「わかってるって。あー、気持ちいい」

「んん……気持ち良くて、  
子宮が降りてきちゃう」

んんん

んんん

んんん



「あっ、あっ、ああ……………イク、イクよ！  
本日二度目の中出し！」

「俺ももう……………」

「ああ、きてえ、ザーメンで  
身体の中も外もいっぱいにしてえ♡」

「イク……………ううー！」

おん

イク



「あはあ、すごいーい。  
熱くて、すごい臭い♡」

「マジでH回すぎるだろ」

「おまんこまだ締め付けてくる」

セッ  
ン

ドク  
ドク





ん

ん

「はあ、はあ……」

「次は俺がアイとセックス  
したいです！」

「いや、俺たる！」

んー

ん

ん

「……………」

「あ、監督のカーキニエム。  
すいぞーHロズ」

「ん……………」

んんん

ボク

「……………やっぱりお前らは  
また今度な。今回は俺の子を  
確実に孕ませるんで」

「そんなあー」

「えへへ、ルビィちゃん似の  
赤ちゃん、デキるかなあ？」





「みやえもん、  
こんなのが出てくるんですけどー!」

「まあ、しょうがないわね。  
そっくりというだけでは規制しょうがないし。  
これも有名税だと思っしかないわ」

「そんなあ。」

「……ていうか、私だけでなく  
ママまで汚してるのが嫌！」

「……そのAVなら  
もうすぐ廃盤になるぞ」

「アクア!?!」

「そっち方面にも顔がきく  
業界の人に頼んで、裏から  
手を回してくれるよう  
頼んどいたから」

「お兄ちゃん♡」

「あんたって子は、  
本当に恐ろしいわね」

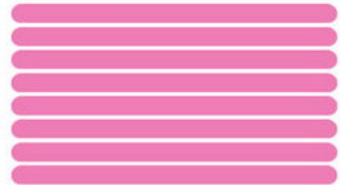


「ちなみにこのCG集作ってる時に  
タイムシグよく原作でもウィック  
被ってて、タイムリーだと作者が  
思ったらしいヨ」

「その情報いるか!？」



## CONTENTS



















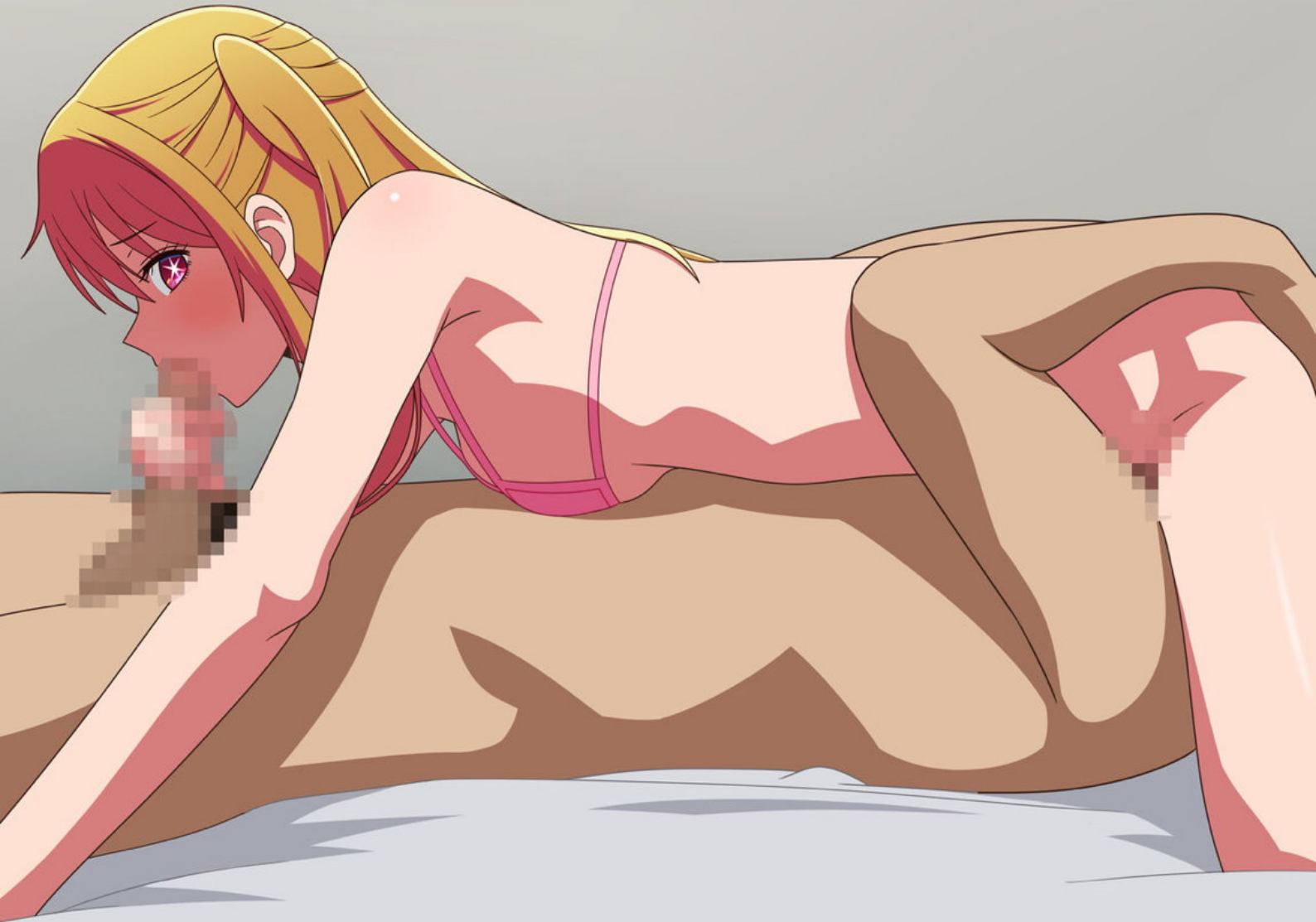


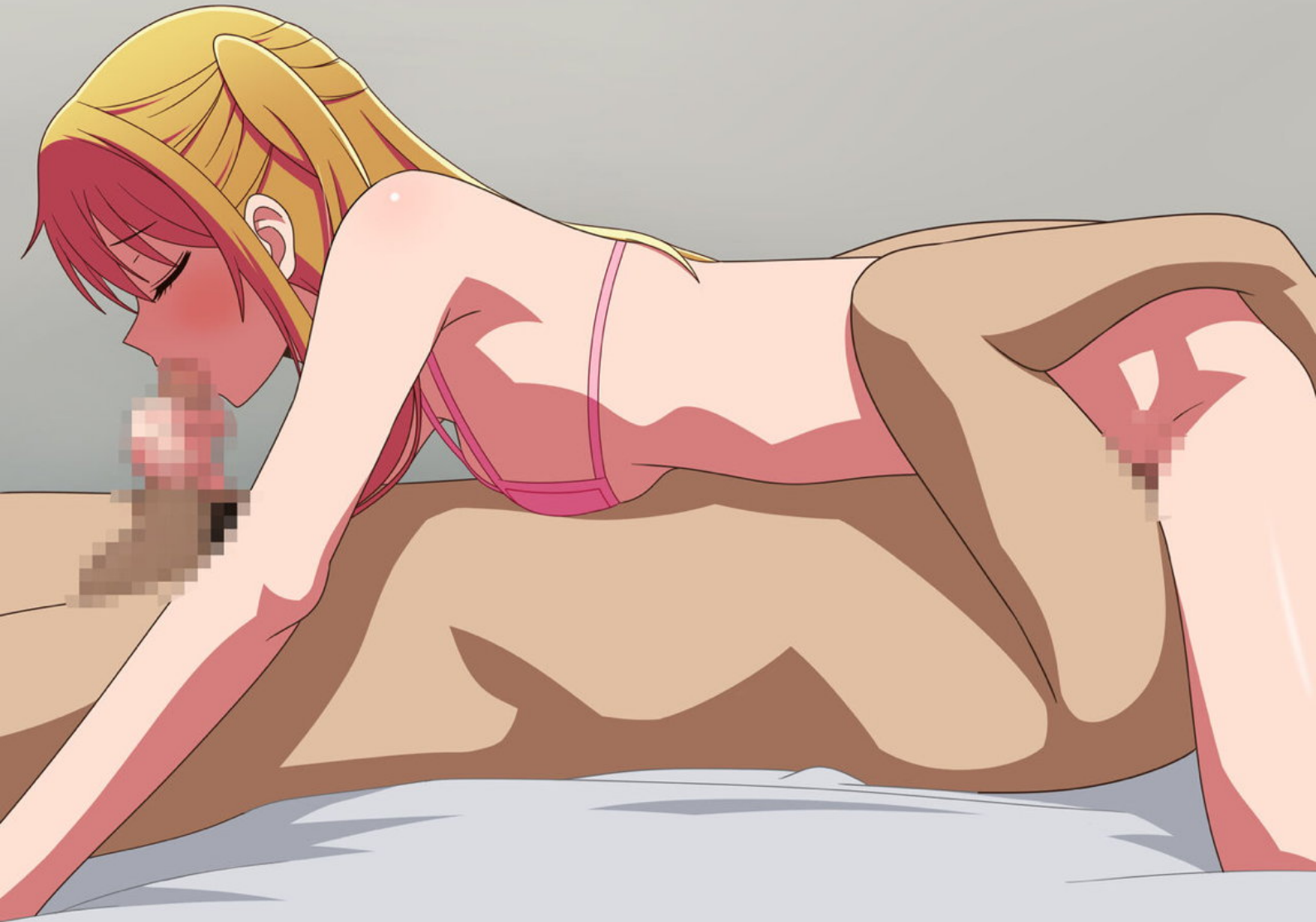


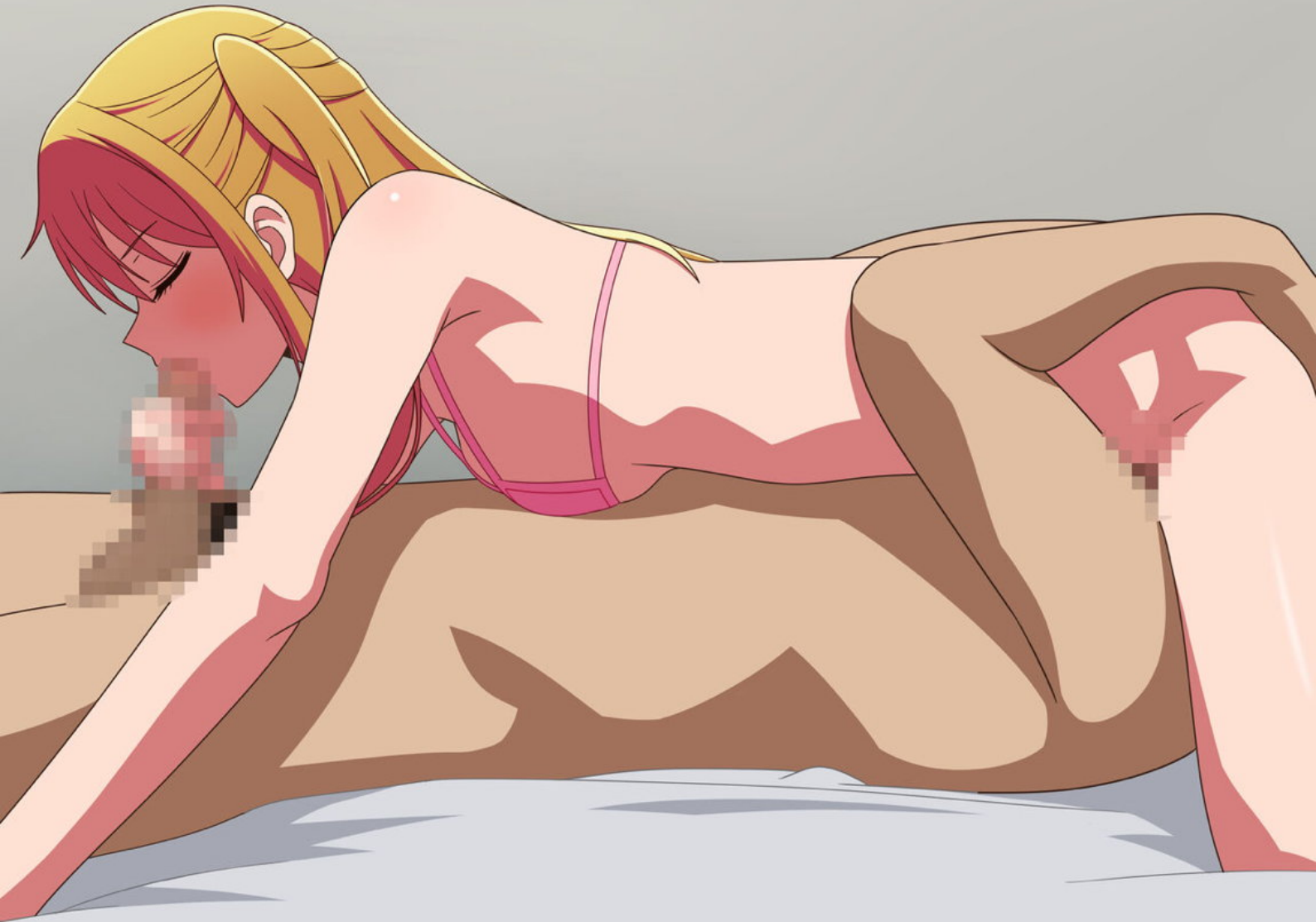


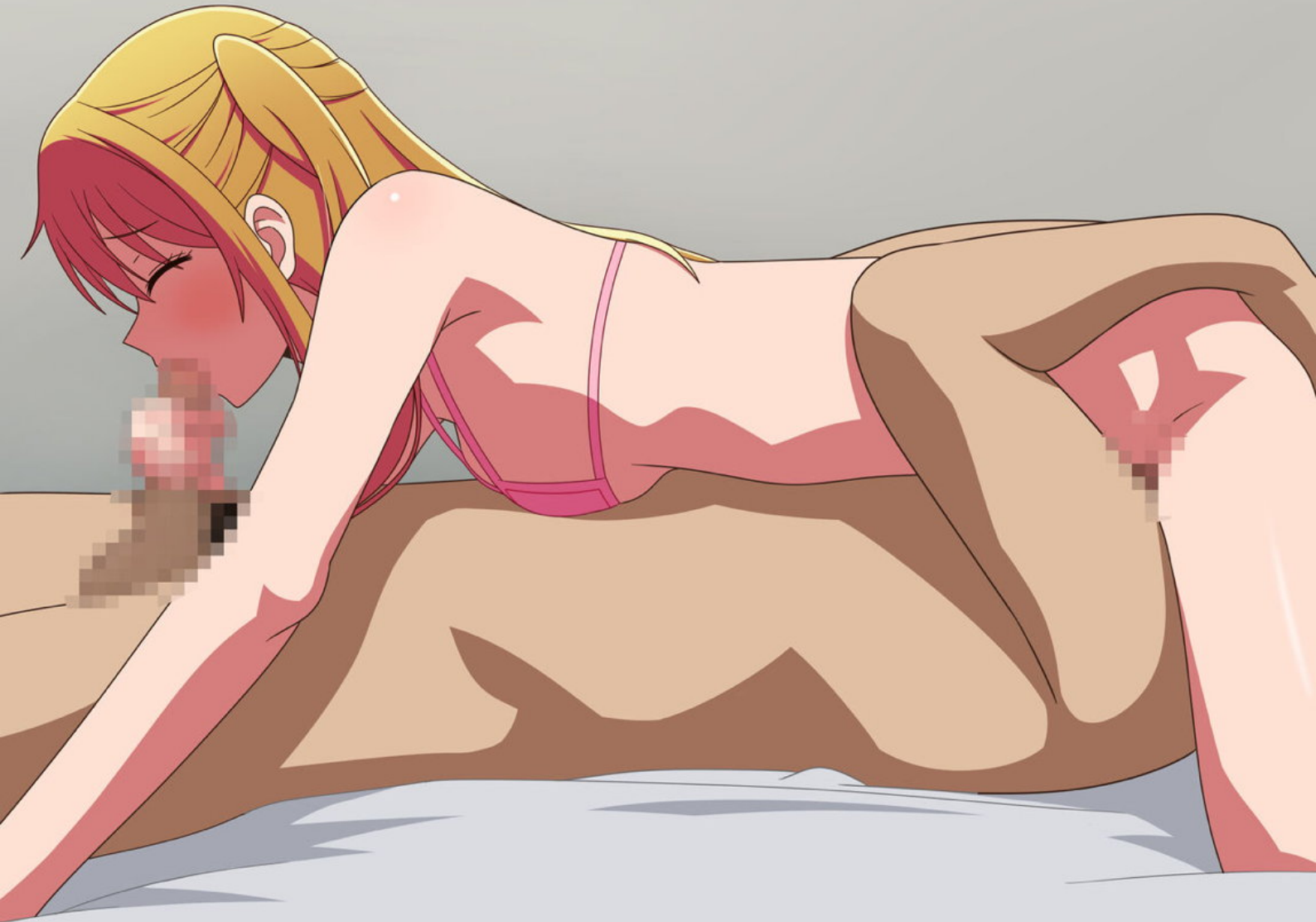


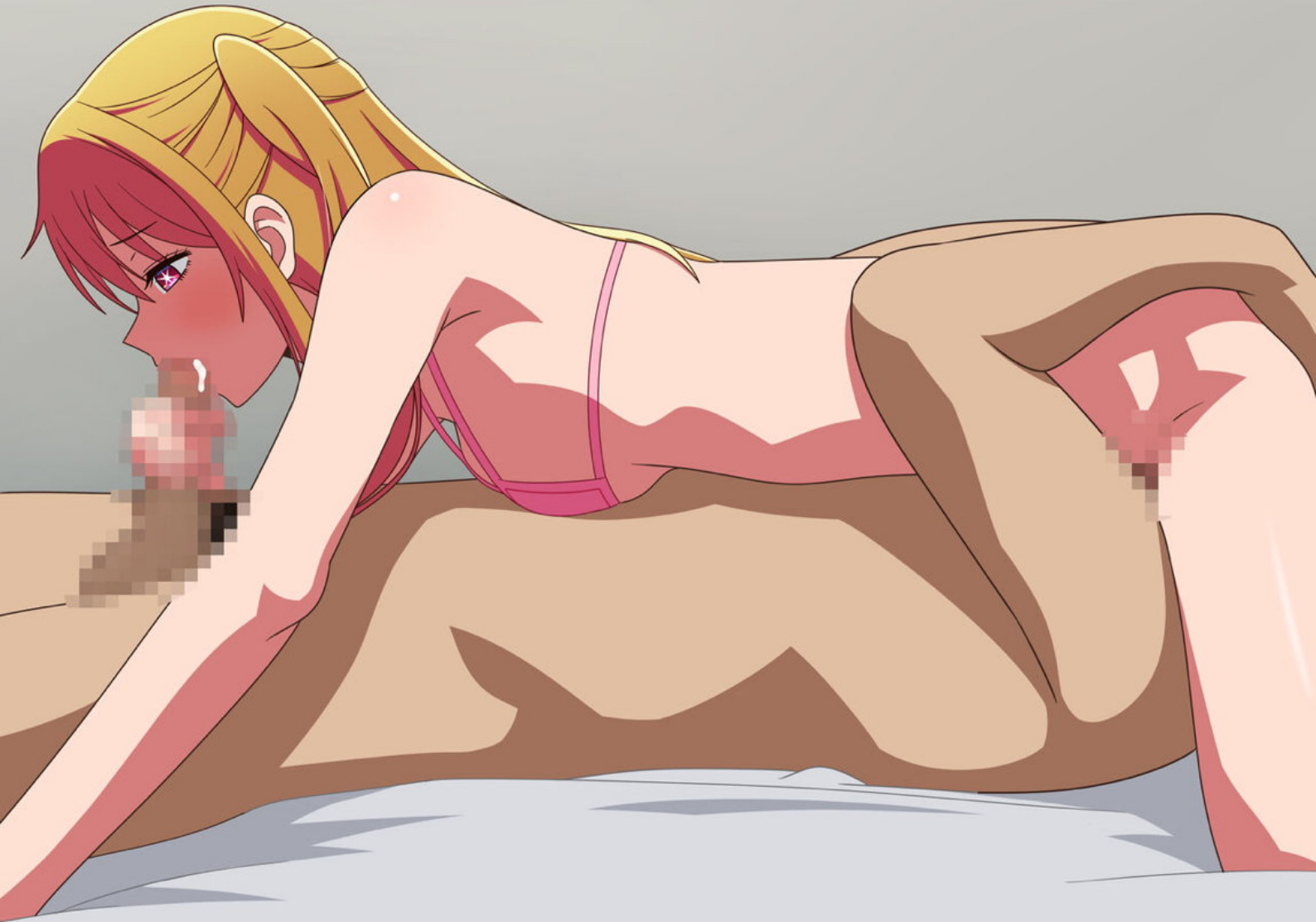










































































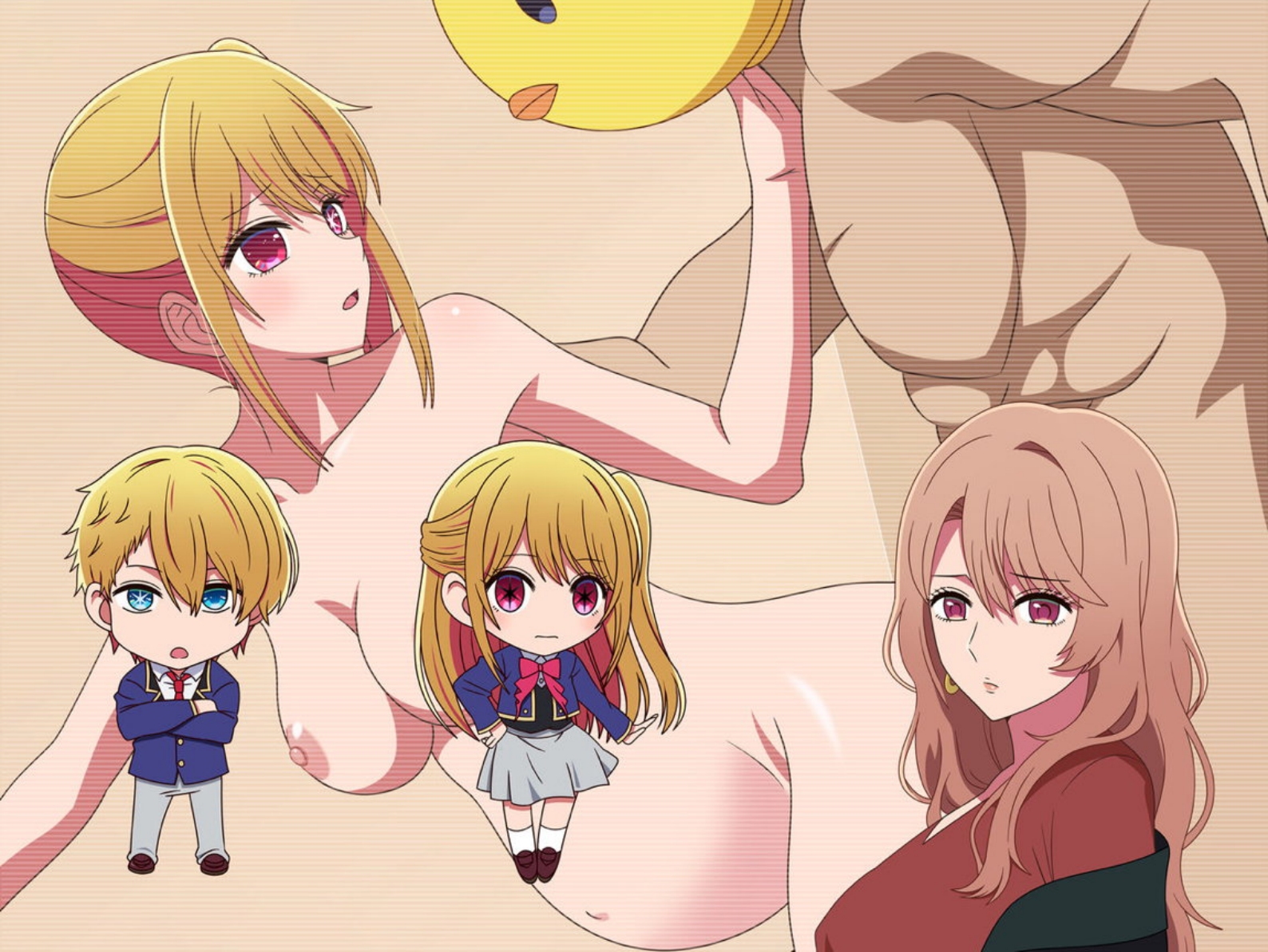


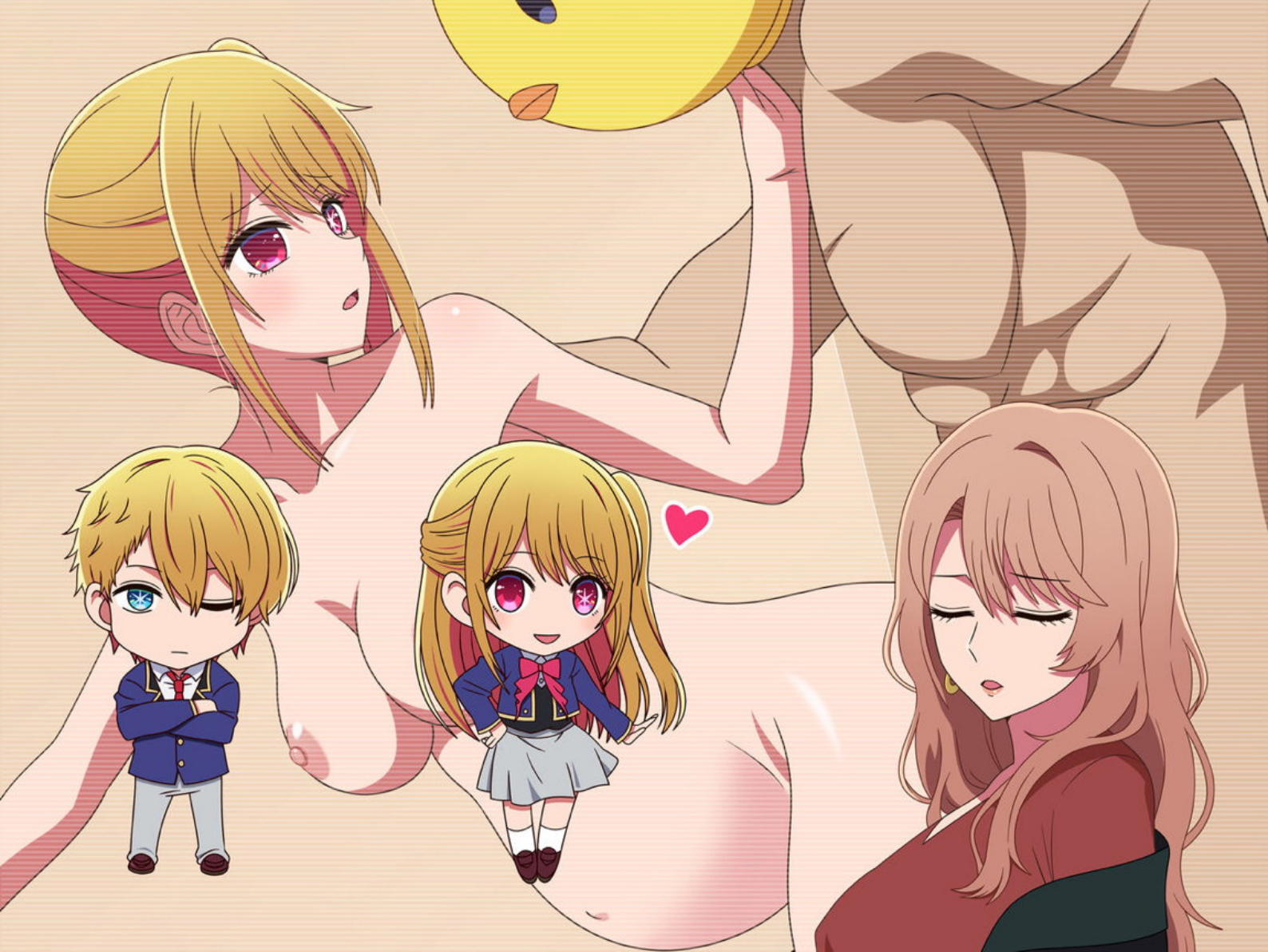


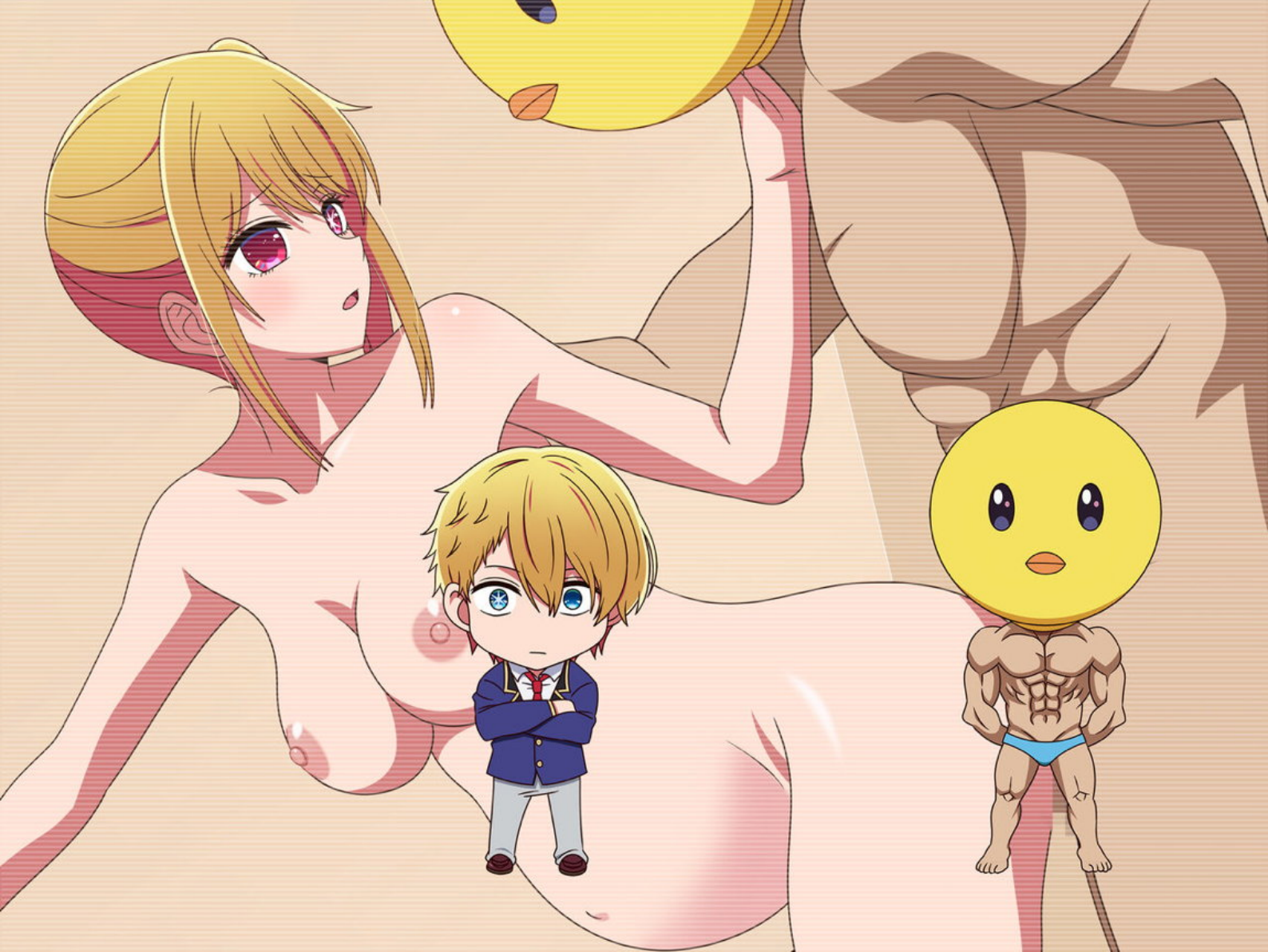




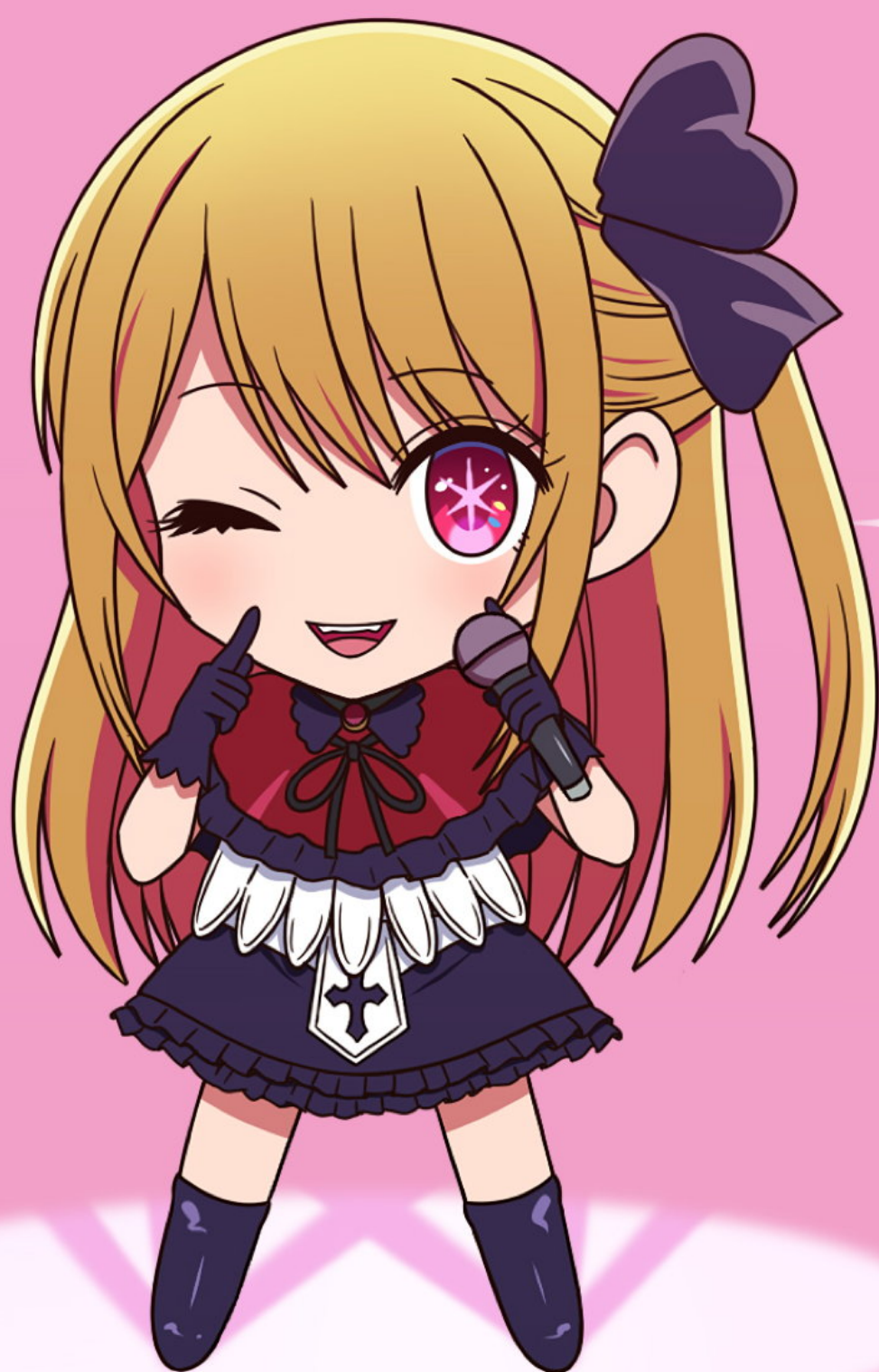












AI  
MUGEN KOUKYU  
EIEN OSHI !!!